

平成26年度
第1回中部地区
研究主任等研修会

平成26年8月20日
中部教育局



平成26年度 第1回中部地区研究主任等研修会

中間評価を生かした 研究推進

中部教育局

本日のめざすところ

①1学期の成果と課題を明確にする

②2学期以降の研究推進に向けた
実効策を練る

→職員会に提案できるものへ

本日の内容

- 1 校内研究の意義（講義）
- 2 研究主任の役割（講義）
- 3 校内研究のチェックポイント（演習）

※休憩

- 4 2学期以降の研究推進に向けた実効策（演習）
- 5 情報交換

校内研究は何のため？

授業を改善するため

- * 教師の授業力向上
- * 子どもの学力向上
- * 学校の教育力向上

学校の課題… 解消のポイントは…

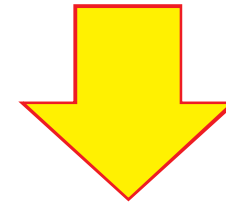
- * いじめ
- * 不登校
- * 問題行動
- * 特別支援
- * 保護者対応
など



後追いの指導

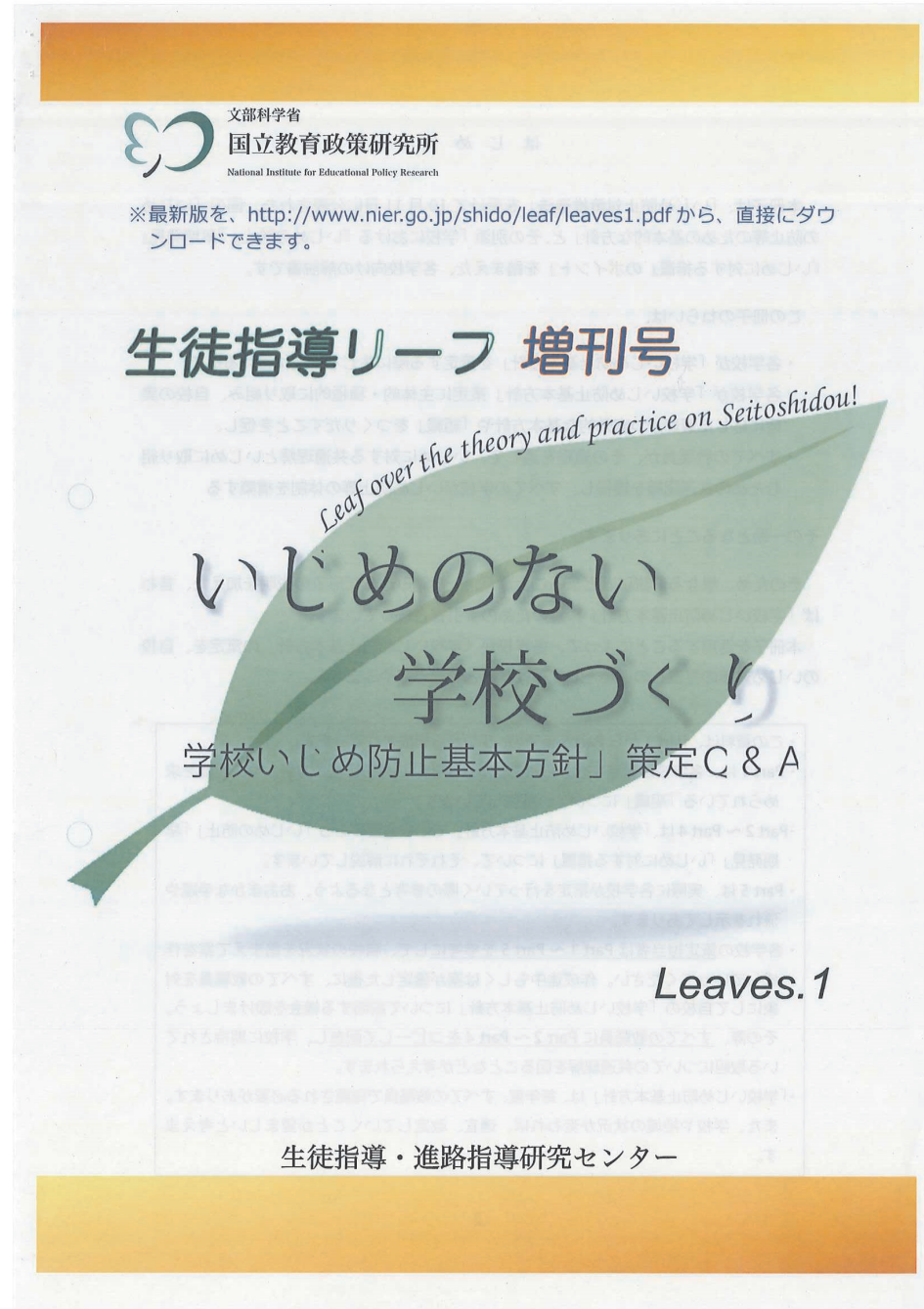
授業改善

組織として取り組む



未然防止

1 校内研究の意義



文部科学省
国立教育政策研究所
National Institute for Educational Policy Research

※最新版を、<http://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaves1.pdf> から、直接にダウンロードできます。

生徒指導リーフ 増刊号

Leaf over the theory and practice on Seitoshidou!

いじめのない
学校づくり

学校いじめ防止基本方針」策定C & A

Leaves.1

生徒指導・進路指導研究センター

いじめの防止

- * すべての児童生徒がいじめに巻き込まれる可能性がある。
- * 全体を対象に**未然防止**の取組を行うことが、**最も合理的で最も有効**

いじめの防止

- * 未然防止の基本は、すべての児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができ、規律正しい態度で**授業**や行事に主体的に参加・活躍できる学校づくりを進めること

いじめの防止

- * わかる**授業**づくり
- * すべての児童生徒が参加・活躍できる**授業**を工夫する
- * **学校全体**の取組にする
- * すべての**教員**が公開授業を行って互いの授業を参観し合う機会をつくる

→**授業改善（校内研究）**

校内研究の充実によって

- * 教師の授業力向上
- * 子どもの学力向上
- * 学校の教育力向上

- * 学校における
諸問題の未然防
止、解消

→研究主任が学校を変える!

昨年度2月 平成25年度 研究主任等研修会

来年度の校内研究の活性化に向けて

1 今、やっておきたいこと ～研究推進計画作成までのポイント～

(1) 今年度の研究の評価

(2) 次年度の計画

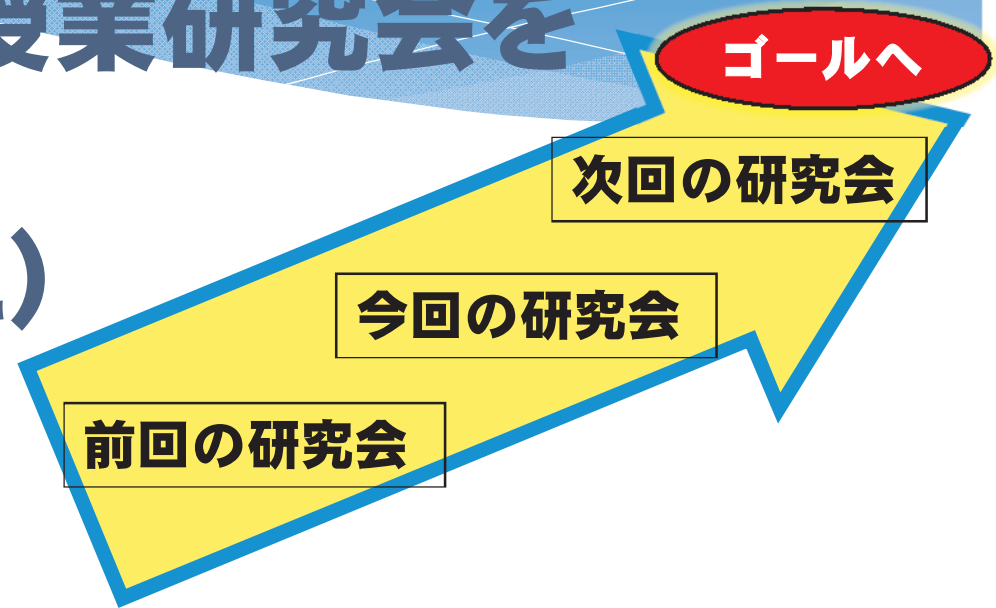
- * めざす子ども像の設定
- * 研究主題の設定（研究仮説の設定）
- * 年間計画の作成

研究主任の役割

- **組織づくり（研究推進委員会）**
- **職員のコーディネート**
（個々を生かす・仲間を増やす）
- **職員の意欲の醸成**
（やる気にさせる・良さを伝える）

研究主任の役割

- 授業研究会と授業研究会を
線で結ぶ
(右肩上がりに)



- そして線から**面** (職員全体) へ
広げる

研究主任の心構え

- * 一人だけでがんばらない
- * 協力者、理解者を見つける
- * 燃えるところから燃やす
- * 完璧を求めない
- * 自分のことより人のことを優先する
- * 感謝の気持ち・言葉を忘れない
- * 研究主任を楽しむ

演習1
**1学期の成果と課題を
明確にする**

平成25年度 校内授業研究会アンケートから 良い点

① 授業研究会の計画

- * 誰が何をするのか示し準備
- * 研究会のねらいを意識した授業

② 研究授業について

- * 授業参観の視点を示す

③ 研究協議について

- * 全職員が意欲をもって取り組んだ

平成25年度 校内授業研究会アンケートから 課題

① 授業研究会の計画

- * 全職員が課題意識をもって取り組めるための工夫

③ 研究協議について

- * 協議が深まる進め方
- * 次につながる協議

演習1

- ① 校内研究チェック表にチェックする
- ② 1学期の成果と課題を整理する

校内研究をチェック！

- ① 研究主題と学校教育目標につながりがある
- ② めざす子ども像が明確である
- ③ 仮説に、手立てや期待される子どもの姿が示されている
- ④ 研究を評価する時期や方法が示されている

校内研究をチェック！

- ⑤ 研究主題を全職員が理解している
- ⑥ 全職員が意欲的に研究に取り組んでいる
- ⑦ 研究の計画や立案などを複数の教員で進めている
- ⑧ 子どもの現状把握・分析を定期的に行っている

校内研究をチェック！

- ⑨ 1学期までの研究に関わる反省を実施した（職員会、アンケート等）
- ⑩ 授業研究会の成果が日々の授業に生かされている

授業研究会が充実してきた

- * 授業研究会の計画的な実施
- * 全員が発言できる研究協議の工夫
- * 共通実践することを決定
- * 研究推進だよりで共通理解

しかし…

日々の実践はどうか？

日々の実践につなげるために

例えば…

- * 共通実践チェックシート
(自己評価)
- * 研究主任の声かけ
- * 授業研と授業研の間の評価
- * 管理職、各主任との連携
(授業参観、学年経営)

演習2

「2学期以降の実効策について」

① 10 : 30 ~ 11 : 15 (45分)

「校種ごとに」

**○ 2学期以降の研究推進に向けた
実効策を練る**

→ 職員会に提案できるものへ

5 情報交換

「中学校区の研究を知り連携の
意識を深める」

②11：20～11：50（30分）

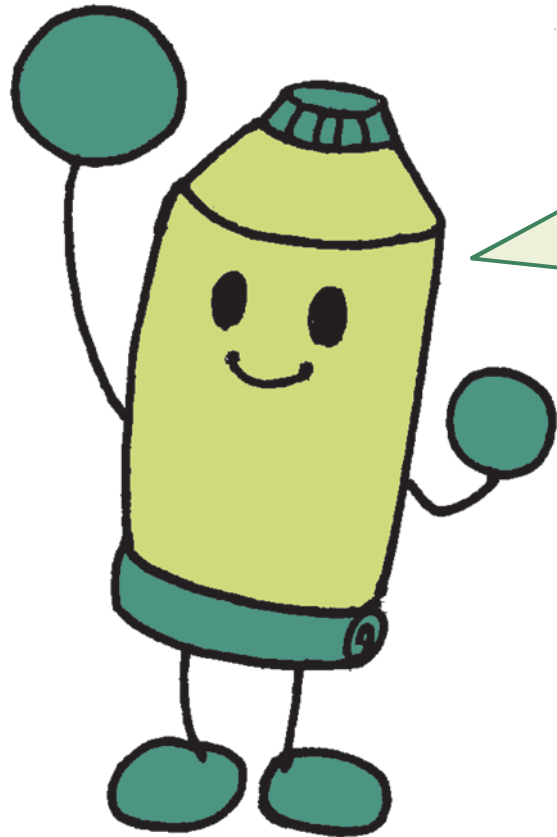
「中学校区ごとに」

○情報交換

（研究の内容、進捗状況など）

第2回
中部地区
小・中学校研究主任等研修会
開催予定

お疲れ様でした



**校内研究！
がんばろう！**